

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	フリースマイル横浜		
○保護者評価実施期間	2025年1月20日 ～ 2025年1月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27 (回答者数)	15
○従業者評価実施期間	2025年 2月8日 ～ 2025年2月 11日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ミーティングや支援会議を通して利用している子どもたちの特性理解に努め、小さな変化を職員間、保護者の方と共有することでひとりひとりに合った支援を行うことができる。	・子どもたちの成長から可愛かったエピソード、強みや苦手、気になる点など職員間で小さなことから共有をするよう日々コミュニケーション意識をしている。	・サービス提供記録や電話、送迎時などで保護者の方とより共有ができるよう意識をしていく。
2	子どもたちの移り変わっていく興味や流行を敏感にキャッチし支援に繋げている。	・子どもたちの日々の発言や行動に目を向け職員間で共有。遊びや活動に反映することができるかすばやく検討し環境・材料の準備を行っている。	・興味や流行だけでなく、新たな興味を増やす機会を作れるようひとりひとりの職員が引き出しを増やしていけるよう意識していく。
3	子どもたちと共に職員も楽しくイベントや活動に参加し支援をしている。	・イベントや日々の支援だけでなく、その他業務も職員ひとりひとりの力が発揮できるようお互いの理解を深め、時にサポートをしながら業務分担をしている。	・支援の質、業務効率を上げるためのスキルアップをより意識していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員全体でマニュアル等の周知ができていない。	・研修の場以外でマニュアルの読み合わせをする時間を作ることができていないため	・日々のミーティング等でマニュアルを読み合わせる時間を設ける。 ・必要なマニュアルをリストにし見える化していく。
2	送迎時や個別対応が必要な際に人員不足と感ずることがある。	・支援の際、環境設定の工夫が足りていない。	・環境設定の見直し。 ・一日の活動の流れの見直し。
3	中学生・高校生が増えていく中、進路についての知識が弱い。	・保育士、言語聴覚士、指導員など支援にあつたての専門性はあるが、中高生との関わりを持ってきた職員がいない。 ・知識不足	・外部研修や学校見学などに積極的に参加、共有していくことで全体の知識をあげていく。